

各位

2017年11月9日

KNTーCTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成29年9月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比100.0%と前年並となったが、一般団体は同81.2%と前年を下回り、団体旅行合計で同85.3%と前年を下回った。企画旅行については前年比109.3%と前年を上回り、個人旅行については同100.2%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比101.7%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比77.3%、一般団体は同95.4%と前年を下回り、団体旅行合計で同85.9%と前年を下回った。企画旅行については前年比91.6%と前年を下回り、個人旅行については同93.9%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比90.2%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比146.2%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の9月の総取扱額は前年比95.7%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、学生団体は研修旅行などの取扱人数が増加したが、修学旅行などの取扱単価の減少により、前年比98.2%と前年を下回り、一般団体は前年開催のリオオリンピック・パラリンピックなどの影響が大きく、同81.2%と前年を下回った。

この結果、海外団体旅行合計で前年比84.9%と前年を下回った。

国内団体については、学生団体は修学旅行やスポーツ大会などの扱い人数の減少により、前年比77.3%と前年を下回り、一般団体は企業系の職場旅行などの取扱人数の減少により、同95.8%と前年を下回った。

この結果、国内団体旅行合計で前年比86.1%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比141.0%と前年を大きく上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、関西、中国、沖縄方面などが前年を上回ったが、他の方面が伸び悩み、取扱額で前年比87.9%と前年を下回った。

ホリデイについては、方面別取扱人数の状況では、アメリカ方面や地政学的リスクによりミクロネシア方面が前年を下回ったが、その他の方面はほぼ前年を上回り、取扱額で同113.5%と前年を上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、中国・九寨溝やメキシコでの地震などの外的要因はあったが、ヨーロッパ、ハワイ、東南アジア、中国（九寨溝を除く）方面を中心に好調に推移した。バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道の道東、道北や南東北、北関東、関西、沖縄の離島方面などが好調であったが、九州方面は前年の「ふっこう割」の影響を受け厳しい結果となった。バス旅行部門は、台風に伴うツアー開催中止の影響や南東北、信越方面の伸び悩みがあったが、北関東、南関東方面などが好調に推移した。テーマ旅行部門は、海外テーマではアジア、中東方面、また、ロイヤル・グランステージの西日本方面、スポーツのハイキング、ユニバーサルデザインの海外ゆったり旅などが堅調に推移した。

この結果、総取扱額は前年比99.4%となり、前年並となった。

以上